

支援だより



平成26年度 第10号
平成27年2月25日
神奈川県立中原養護学校
支援連携グループ

「一月は行く。二月は逃げる。三月去る。」と言います。そろそろ3月の声を聞く時期となりました。学校では卒業に向けての準備も始まっています。寒さが緩んだり、また戻ったりの日々が続いています。みなさま、どうぞ体調に気をつけてお過ごしください。春はもうすぐです！

さて、今月の支援だよりの内容は以下のとおりです。

1. コラム
～PT（理学療法士）・本杉直子先生～
～IT 支援係・西川慎二先生～
2. GLコーナー
3. 障害者を助ける機器の紹介

1. コラム

「歩行補助具」

PT（理学療法士）
本杉直子先生のコラム

11月号の「移動能力」の話題に続いて、今回は歩くことを支援する「歩行補助具」の紹介をしたいと思います。

障害者総合支援法によると

歩行器： 六輪型、四輪型、三輪型、二輪型、固定型、交互型

歩行補助つえ： 松葉づえ、カナディアン・クラッチ、ロフストランド・クラッチ、
多点杖、プラットフォーム杖

が交付の対象となっています。ここでは代表的な歩行補助具について紹介します。

○歩行器

サドルと体幹パッドで安定した座位の中で足を動かせる。テーブル高さ・サドル角度・サドル高さが調節できる。大きいいため、病院や施設内での使用に適する。

四輪型：SRC



体の真横に支持バーがあるため、上体が前にもたれることなく歩行可能。

四輪型：PCW



小児用歩行器。円形なので、どちらの方向にも進める。小型で家庭でも使用可能。

四輪型：UFOウォーカー

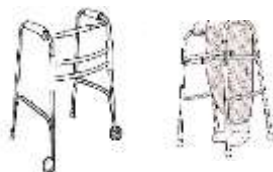


腕全体を歩行器の上におき、寄りかかるようにして身体を支えて移動できる。大きいため、病院や施設内での使用に適する。

四輪型：U字ウォーカー



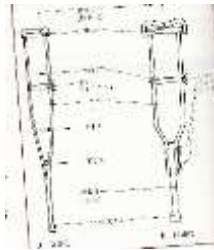
前方に二輪、後方の二脚は車輪なし。歩行器を前に押しと動かすが、体重をかけるとしっかりと固定できる。



○歩行補助つえ

脇と手の2点支持。下肢への負担を軽減するために、十分な腕の筋力が必要。

松葉づえ



握りの部分が約 30° 曲がっている。前腕部と手による2点支持。固定性がよいので、筋力低下・運動失調に適する。

ロフstrand・クラッチ



『iPad 活用事例について』

IT支援係 西川慎二
先生のコラムです。

特別支援教育では、iPad など ICT 機器が多く活用されています。障害がある方でも使いやすいようにアクセシビリティなど様々な機能が搭載されていたり、アプリなども役に立つものが多く配布されています。Apple Store では、現在90万本以上のアプリが配布されており、その中から学習や認知に使えるソフトや生活をいくつかご紹介したいと思います。

カメラ（元々入ってます）



書くことが難しければ、さっと撮影。フロント（手前）カメラ、リア（後ろ）カメラどちらでも撮影できますので、ぱっと思いついた時に撮影できます。ホームボタンと電源ボタンを同時に押せば、現在の見ているページのスクリーンショットがとれます。

google マップ（無料）



現在の位置やルート案内にてわかりやすく表示します。ストリートビューでは、地図が写真で見られます。

ドロップトークHD（2500円）



DropTalk は、話し言葉でのコミュニケーションを苦手とする、自閉症や言語障害を持つ方のコミュニケーションを助けるAAC（補助代替コミュニケーション）ソフトウェアです。無料でダウンロードできますが、有料版ですとシンボルが多く選べ、音声と合わせて使用できます。

かなトーク（無料）



入力された文字を読み上げる、音声発声型意思伝達アプリです。身体の障害で発声が困難な方のコミュニケーションツールとして、また日本語を学ぶための勉強ツールとしてご利用いただけます。

EYE TALK(無料)



目を閉じる動作を感知することにより、カード選択及び再生を行います。

Magic Reader（無料）



タッチフリー電子書籍リーダーです。画面を一切触らずに顔を左右に振るという動作で、指の代わりにページをめくることができます。

ロイロノート（500円）



カードのように写真、動画、テキストが表示され自由に配置することができます。そのカード同士を線でつなぐだけで見せる順番を決めることができますので鉛筆やノートのように活用し伝えあい、発表することができます。

集中タイマー（無料）



集中タイムと休憩タイムを交互に繰り返すシンプルなタイマーアプリです。作業に集中する時間と休憩する時間を交互にタイマーがお知らせします。

おたすけごまっち（無料）



一日の行動や状況を描いたイラストカードを組み合わせて行動の順序やその日の予定を目で見て確認できるので、予定行動のながてなお子様や、言葉からの指示が入りにくいお子様のスケジュール確認にも役立ちます。

Microsoft Excel, Word, Powerpoint（無料）



文章作成のワードや表計算のエクセル、プレゼン用のパワーポイントの三つが、無料でダウンロードできるようになりました。簡単な編集などはiPad上で行えるようになります。

Pocket Pond（無料）



画面全体が池になります。錦鯉を飼育するアプリです。好きなところを触ると水に波紋が起きたり鯉に触れたりします。

I love fireworks（無料）



I Love fireworks は打ち上げ花火のアプリケーションです。画面をタッチしてオリジナルの花火を自由自在に打ち上げてください。作った花火は記録して何度でも再生することができます。作成中に選んだBGMは自動的に記録され、曲に合わせて花火を楽しめます。

電車が動く（無料）



手で画面をなぞって線を引くことによって、その上を電車が走ります。ユニークな動きと効果音で、適当にタッチするだけでも楽しめます。

なぞルート（無料）



乗り物（スタート地点）と旗（ゴール地点）の間に点線が引かれています。乗り物をタッチして点線をなぞっていくときらきらと星が現れます。文字を書くために必要となる直線や曲線を、ひらがなやカタカナから抽出しているので、なぞることによって運筆の練習になります。

新明解国語辞典 第7版（1100円）



電子版の国語辞典です。国語辞典を持ち歩かなくてもiPad 一台持ち歩けば済みます。

iBooks（アプリは無料）



ブックをダウンロードして読書を楽しめる画期的なツールです。iBooks Store で取り扱いのあるブックはすべて無料サンプルが提供されているため、一度試し読みができます。

iPad は2010年に発売されてから今年で5年目になります。iPad には様々な可能性があり、日々進化し続けています。アプリも毎日様々なものがリリースされていたり、付属品も様々な種類のものがあるため、時々チェックし、日々の生活に活かしていただければと思います。

※金額は、平成27年1月31日現在のもので変更になっている場合もございます。

3. 障害者を助ける機器の紹介



■ コミュニケーションチャーム

朝日新聞1月7日（水）の朝刊で紹介された川崎限定バージョンのコミュニケーションチャームを紹介します。記事の内容は以下の通りです。街なかで困っている人を積極的に助ける意思を示すアクセサリ「コミュニケーションチャーム」。川崎市とNPOピープルデザイン研究所は、アパレル会社「SHIPS」とコラボし、川崎地域限定のチャームをつくった。市内2店舗のSHIPSで販売中だ。チャームは、紺色のアクリルカード（縦86mm×横54mm）に、フック型のキーリングと3本のひも（225mm）が組み合わさっている。作業の一部は市内の障害者施設が、担った。購入者はバックなど目立つところにぶら下げてファッション感覚で、「積極的に助ける」という意思を示す。助けが必要な障害者や外国人らは、カードにデザインされた病院やトイレといったアイコンを指さすなどして、思いを伝える。市の担当者は「障害者らの側にも、こういうアクセサリの存在を知ってもらいたい」と話す。1個756円（税込み）。問い合わせは市自治推進部（044-200-2017）。※参考記事：朝日新聞1月7日（水）朝刊

（支援だより1月号の折りこみ作業を本校の事務・印刷班が行いました。折り込みをしてくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。）

支援だよりについてのご意見、ご要望は

e-mail:nakahara01-sh@pen-kanagawa.ed.p.jp までどうぞ！